

令和4年度の修了に寄せて

校長 渡部 透

昨年のこの時期には、集められた雪が駐車場に残っていました。雪が少なかった今冬は残雪もなく、暖かな陽射しはすでに春の訪れを告げています。

さて、3月9日（木）に令和4年度の卒業式が行われ、小学部から高等部まで35名の卒業生の門出を見送りました。また、3月20日（月）には、修了式が行われ、小学部から中学部まで36名の修了と高等部43名の進級を認定しました。小学部、中学部の卒業生はそれぞれ学校生活の新たなステージに進みます。高等部の卒業生は人生の新たなステージを歩み始めます。進級する在校生を含め、全員が新しい場所で自分らしく輝き続けることを願っています。

さて、天王みどり学園は来年度、創立20周年を迎えます。開校以来、この潟上市天王に根ざした学校となるよう、また、地域の一員となれるよう様々な活動に取り組んできました。コンビニやスーパー、公園、公共交通機関など積極的に地域の社会資源を学習に活用してきました。高齢者介護施設等の窓拭きや清掃、リクレーション活動、地域の道路や海岸の清掃・ゴミ拾い、高齢の方のお宅や介護施設の雪寄せなどは、学校で学習したことを発揮する場となっていますし、地域のためにできる学習活動として、児童生徒にも定着しています。地域の方と一緒に夏まつりも開催してきました。地域とともにあった20年間の積み重ねを天王みどり学園の新しいステージで、より充実したものに発展させていきたいと考えます。

令和5年度、天王みどり学園は全校生徒100名でスタートします。新入生は小学部、中学部、高等部合わせて21名です。子どもたちが新しい仲間とふれあい、はげましあい、みがきあいながら、楽しく充実した学校生活を送られるよう、また、一人一人が自分らしく輝き、進んで社会参加できよう教職員一同、取り組んでいきたいと思ひます。